

【工事概要】

東北自動車道仙台宮城IC～泉IC間に位置する中山橋は、開通から約40年が経過し、車両の大型化による輪荷重の増加で発生した微細なひび割れや、冬期間の凍結防止剤散布により含有する塩分が原因となり、コンクリート床版の劣化や鉄筋に錆が生じているため、抜本的な老朽化対策工事を実施する必要があります。

橋のコンクリート床版を交換することから、昼夜連続1車線通行規制及び夜間通行止めを実施しながら工事を行う必要があります。このため、上り線方面では走行できる車線が2車線から1車線に規制され、工事期間中、夜間通行止めになる日があります。

【主な工事の内容】

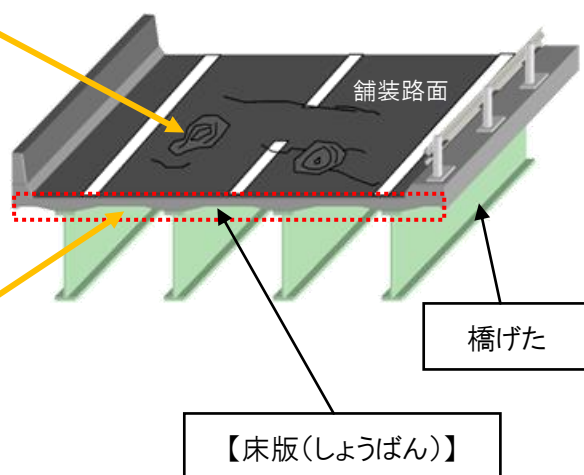
劣化したコンクリート床版を撤去し、新設のコンクリート床版を設置することにより、走行性・安全性の向上を図ります。



【舗装路面損傷状況】



【コンクリート床版裏面ひび割れ状況】



【コンクリート床版の撤去】



【新設コンクリート床版の設置】



【新設コンクリート床版施工完了】